

日外協講演会「中国ビジネスを進める上で必要な視点」 抄録(2018年12月5日開催)

中国ビジネスに不可欠な中国語

英語と日本語だけでは中国の人々と信頼関係を築くことは難しい。
中国語ができなくても中国ビジネスができる時代は過去のものになりつつある。



麗澤大学 外国語学部 名誉教授
NPO法人日中翻訳活動推進協会(而立会)
理事長 三瀧正道

相手に任せきりになる弊害

中国語でコミュニケーションがとれず、中国人通訳や幹部を介在させなければならないことによる労務管理や経営上のトラブルが多発している。現地との合弁で中国語の会話や文書が理解できず意思決定から疎外される、あるいは、現地化という美名のもとに任せきりで失敗という事例が後を絶たない。交渉における齟齬^{そご}、法律文書や契約書の誤訳、中国人任せのネットやメディアからの情報収集による情報の偏りや対応策の遅れ、専門機関からの情報に頼ることによる差別化した情報取得の不足などによるものだ。また何より、現地での日本人の視点による生きた情報収集が不十分なことや、中国人に任せきりになることによる現地コントロールの機能不全といったケースが増えている。

これは、中国語を理解しないと中国人との信頼関係を到底築けないことを知らず、英語と日本語があれば十分と考えるためである。結果、いざというときは中国人頼みになり、1人の中国人の意見で大事な方針が決まってしまう。さらに、悪いことにその中国人が急に退職すると、プロジェクトがストップ、時には崩壊するなど様々な弊害やマイナスが生じる。だが、なぜか鈍感な日本企業が多い。

企業は常に外部に委託するか中国人社員の翻訳に頼らざるを得ないのが現状である。だが、ある合弁会社では「日本側が利用する中国語通訳代や翻訳代がもったいない」「あなたがたはアメリカへはちゃんと英語を話せる社員を送っているのに」と中国側パートナーからクレームを受けたという。しかも、翻訳の質はばらつきが激しく様々な問題発生の温床にもなっていて、抜本的な取り組みが求められる。特に、ネットやメディアから生きた情報を収集し読める人材の育成がおろそかになっている。

話し言葉と一致しない書き言葉

「美女排隊」とはどういう意味か。美女が整列している？ ではなく、アメリカバレーボールチームのことだ。

中国語の難しさとは、英語なら例えば文章の上から4行目の左から3番目の単語は何かと聞かれたら容易に答えられる。だが、中国語では単に漢字の羅列なので、何が1つの単語なのか、主語はどれかを探すのも難しい。

中国では近代化政策の一環として、言文一致政策がとられてきた。すなわち、書き言葉をなくして、話し言葉と一致させようというものである。ところが、3～4割の書き言葉が厳然と残って進化している。中国政府はあわてて10